

(2) 対策

ア 数値目標

| 項目 | 現状値 | 目標値 | 目標値の考え方 | 出典 |
|---|------------------|---------------|--|-----------------------------|
| 医療提供支援策が実施されている無医地区の割合 | 100% (2022年度) | 100% (毎年度) | へき地への継続的な医療提供は困難であるため、患者輸送車運行事業や巡回診療等による、医療提供の支援を行う。 | 無医地区等調査(厚生労働省) |
| 次のいずれかを実施したへき地医療拠点病院の割合 ・巡回診療 年間実績 12 回以上 ・医師派遣 年間実績 12 回以上 ・代診医派遣 年間実績 1 回以上 | 100% (2022年度) | 100% (毎年度) | 国の指針に基づき、1へき地医療拠点病院当たり月1回以上あるいは年12回以上実施することを目標とする。 | へき地医療支援事業実施状況(静岡県へき地医療支援機構) |

イ 施策の方向性

(ア) へき地住民への医療提供体制の確保

- 地域医療への貢献を志す自治医科大学卒業医師及び医学修学研修資金貸与者の配置と、大学、病院、地域の医師会等との連携により、へき地勤務医師の確保及び定着を促進します。
- 総合診療・プライマリケアを実施する医師の育成・確保を進めます。
- 看護職員養成所等に在学する者を対象とした修学資金制度を活用し、へき地の医療機関に従事する看護師の確保に努めます。
- へき地医療に従事する医療従事者が安心して勤務・生活できるキャリア形成支援を図ります。
- 県内外の医学生が参加する地域医療セミナー(佐久間病院で実施)や、医師をこころざす中高生を対象としたこころざし育成セミナー等の機会を通じて、医療従事者の養成過程等における、地域医療やへき地医療への動機付けを図ります。
- へき地医療の維持・確保を図るため、地元市町等と連携して、へき地の医療を担う診療所等の施設・設備整備の支援に積極的に取り組みます。
- 訪問診療に必要な医療機器の整備に対する支援を実施するなど、在宅医療の推進を図ります。
- 遠隔医療を実施している医療機関の現状や市町の介入状況を市町等に共有するとともに、オンライン診療を行う医療機関の情報通信機器の整備を支援します。
- 訪問看護については、サテライト型訪問看護ステーションの設置など、へき地を含め全県下での安定的な訪問看護サービスの提供体制の確保を図ります。

(5) 関連図表

○指標による現状把握

| 指標 | | 実績 | | 出典 |
|----------------------------|--------------------------------|-------|-------|-------------------------|
| 指標の項目 | 時点・期間 | 静岡県 | 全国 | |
| へき地診療所数 | 2022. 4. 1 | 12 | 23. 8 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| へき地診療所の医師数 | 2022. 4. 1 | 10. 6 | 18. 2 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| へき地医療拠点病院数 | 2022. 4. 1 | 8 | 7. 3 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| へき地医療拠点病院によるへき地への巡回診療の実施回数 | 2021. 4. 1 ～ 2022. 1. 1 | 48 | 96. 6 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| へき地医療拠点病院からへき地へ医師を派遣した回数 | 2021. 4. 1 ～ 2022. 1. 1 | 110 | 298 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| へき地医療拠点病院からへき地へ代診医を派遣した回数 | 2021. 4. 1 ～ 2022. 1. 1 | 33 | 77 | 厚生労働省「へき地保健医療対策事業の現状調べ」 |
| 巡回診療、健康診断等が実施されている無医地区数 | 2021. 4. 1 ～ 2022. 3. 31 | 11 | 11. 6 | 厚生労働省「無医地区等調査」 |

※全国値は平均値